

市民意識調査報告書

平成20年5月

掛川市 企画調整課

目 次

第1章 市民意識調査の概要	2
第2章 集計結果	3
1. 基本的事項	
2. 政策の実施効果	
3. 政策に対する満足度と優先度	
(1) 満足度と優先度の分析結果（ポートフォリオ分析）	
(2) 象限（ゾーン）別の経年変化	
(3) 満足度の経年変化	
(4) 優先度の経年変化	
第3章 抽出集計結果	20
第4章 自由回答結果	23

第1章 市民意識調査の概要

1. 調査目的

地方分権時代に求められるのは、国策に従い事業を実施するだけの事業自治体から、自己決定・自己責任により、最少の経費で最大の効果を上げる政策自治体への転換である。

のことから、本市ではこれまでの総花的・網羅的な事業展開から顧客（市民）志向に基づく重点的・戦略的な事業展開を行う成果志向型行政経営に取り組んでいる。

この市民意識調査は、その取り組みの一環として、適切に施策・事務事業の軌道修正や新規立案を行うため、複雑・多様化する市民ニーズを的確に捉えることを目的として実施するものである。

また、第1次総合計画においては、計画の成果目標を具体的な数値で掲げてある。この目標達成度も併せて、この市民意識調査にて測定するものである。

2. 調査対象

(1) 調査対象

市内在住の20歳以上の全ての市民の中から2,000人の方々を抽出し、男女比率を1対1とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

(2) 配布数

2,000枚を配布した

3. 調査期間と調査方法

(1) 調査期間

平成20年4月24日～平成20年5月16日

(2) 調査方法

郵送発送・回収

4. 回収状況

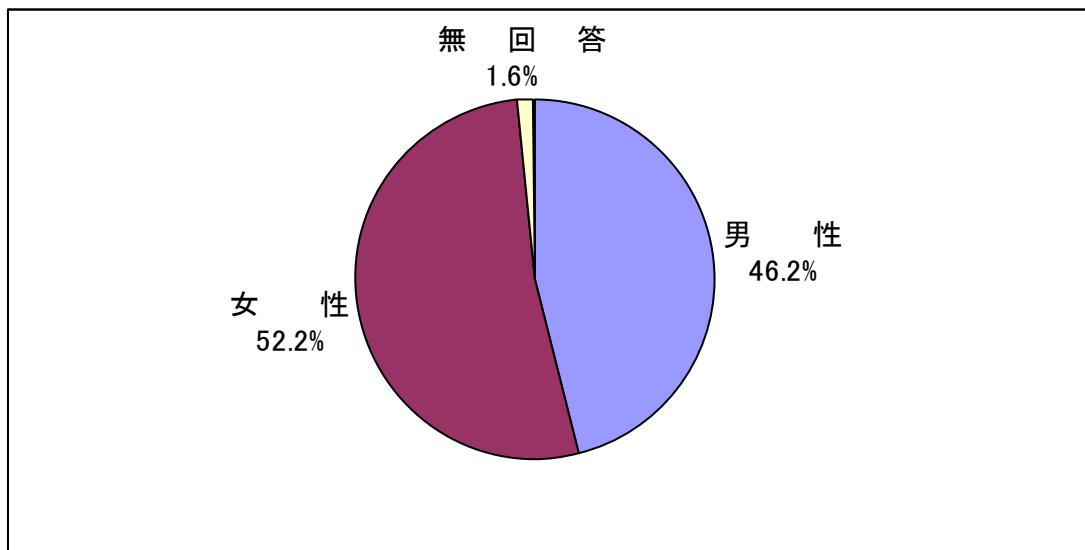
860枚回収（回収率 43.0%）

第2章 集計結果

1. 基本的事項

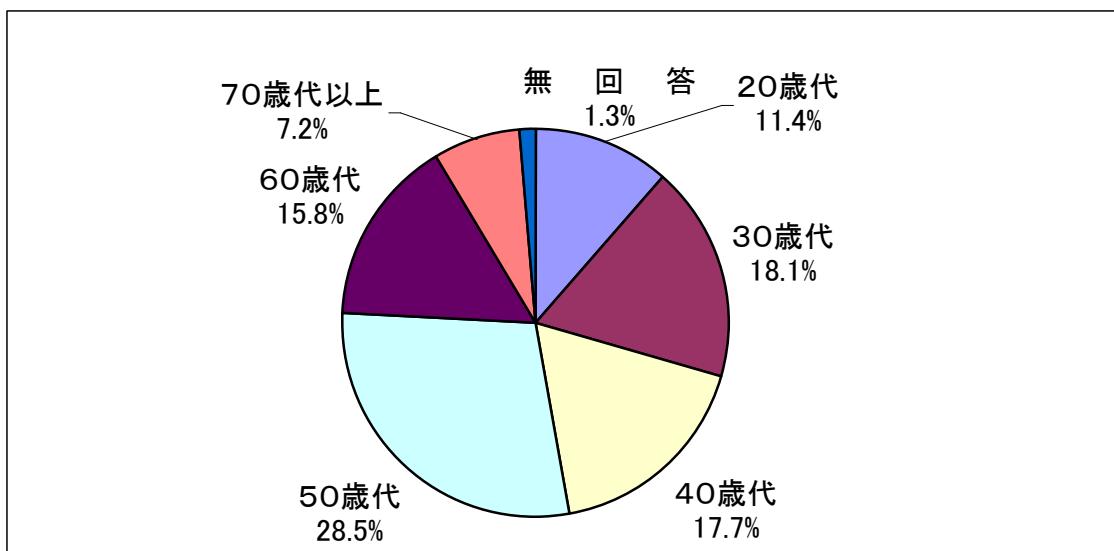
(1) 性別（問1）

回答者の性別は、「男性」46.2%、「女性」52.2%と「女性」の割合が「男性」を上回り、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が高いことがうかがえた。



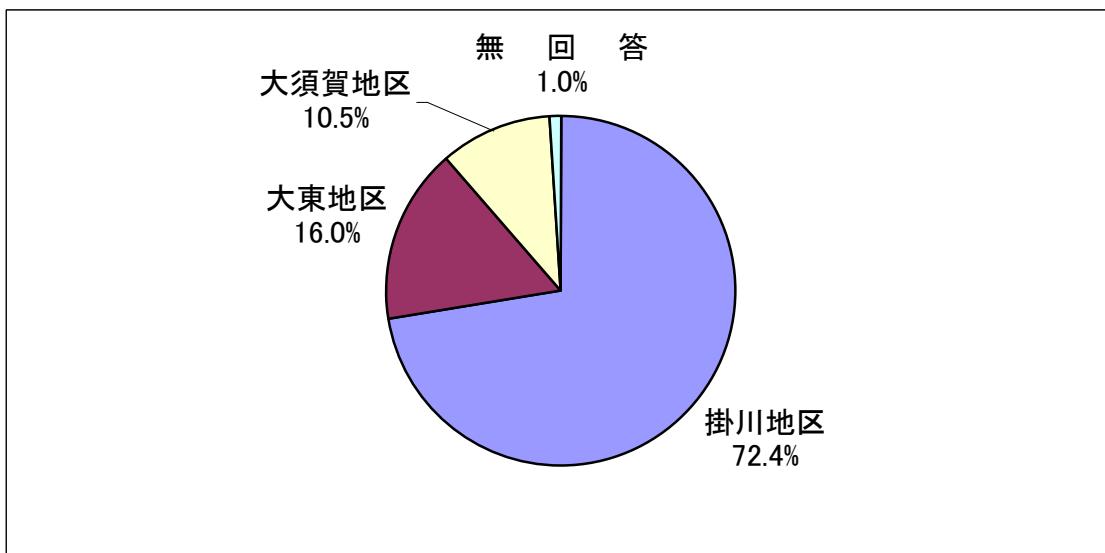
(2) 年齢（問2）

回答者の年齢は、「20歳代」11.4%、「30歳代」18.1%と、若い世代の回答割合が約3割、「60歳代」15.8%、「70歳代以上」7.2%と回答割合は約2割となった。一方、「40歳代」17.7%、「50歳代」28.5%と回答は約半数を占め、中年層の意向が多少強く反映されていることがうかがえた。



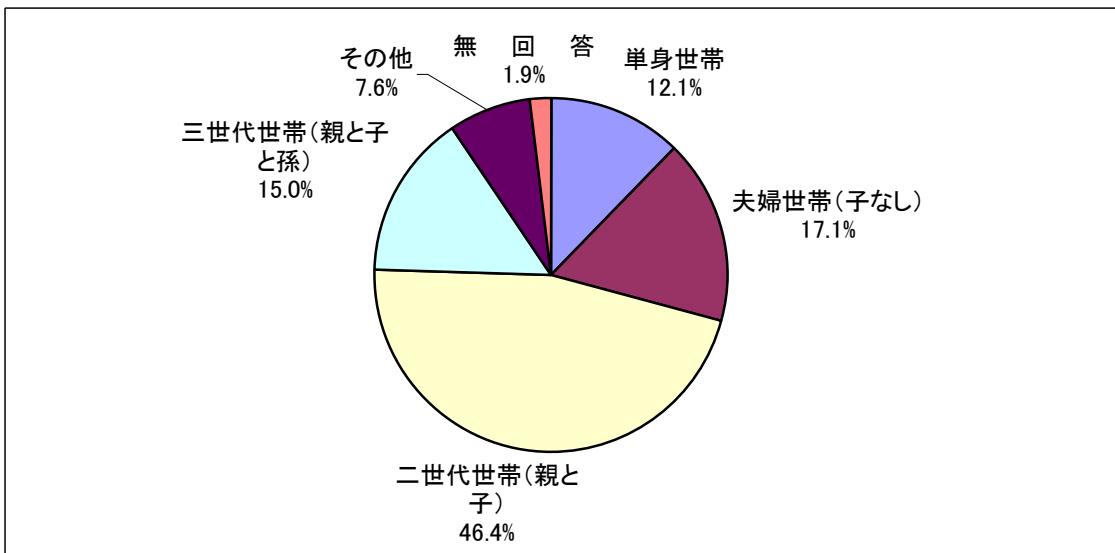
(3) 住まい（問3）

回答者の住まいは、「掛川地区」72.4%、「大東地区」16.0%、「大須賀地区」10.5%であった。



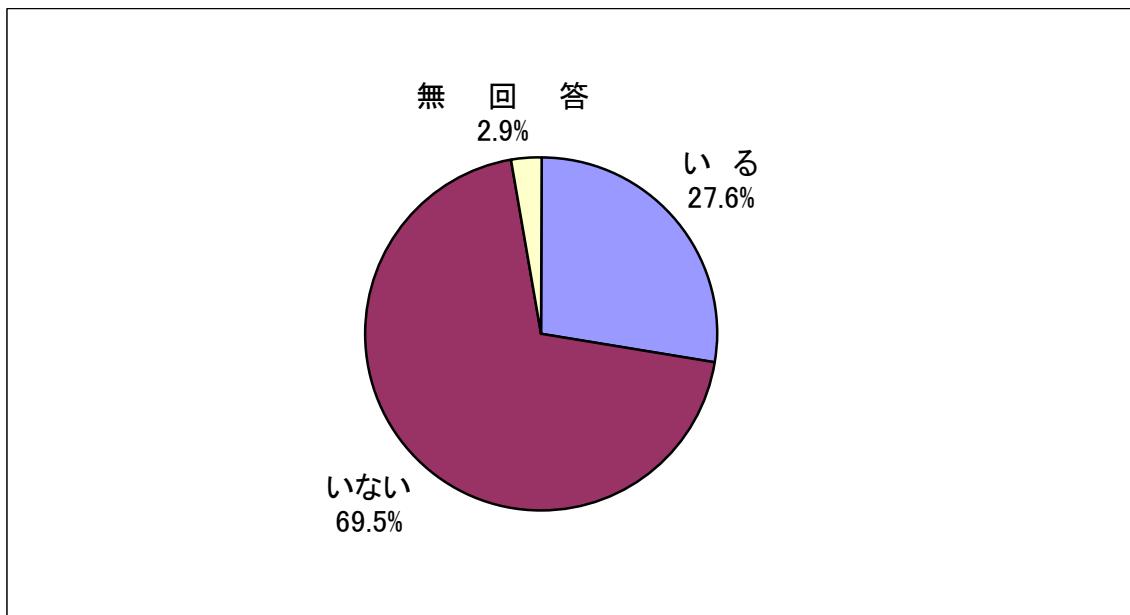
(4) 家族構成（問4）

回答者の家族構成は、「二世代世帯（親と子）」46.4%、「夫婦世帯（子なし）」17.1%などが上位を占め、核家族化が進行していることがうかがえた。一方、「三世代世帯」は15.0%と前回調査より約3%減少した。



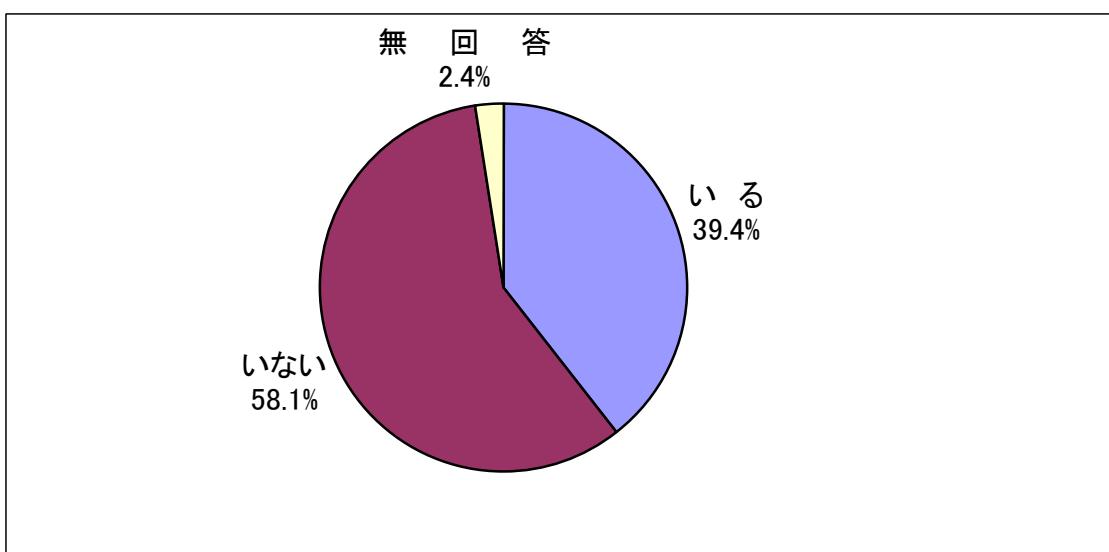
(5) 高校生以下の子どもの有無(問5)

回答者の子どもの有無(高校生以下)は、「いない」69.5%で約7割を占めていることから、少子化がすすんでいることがうかがえた。



(6) 65歳以上の家族の有無(問6)

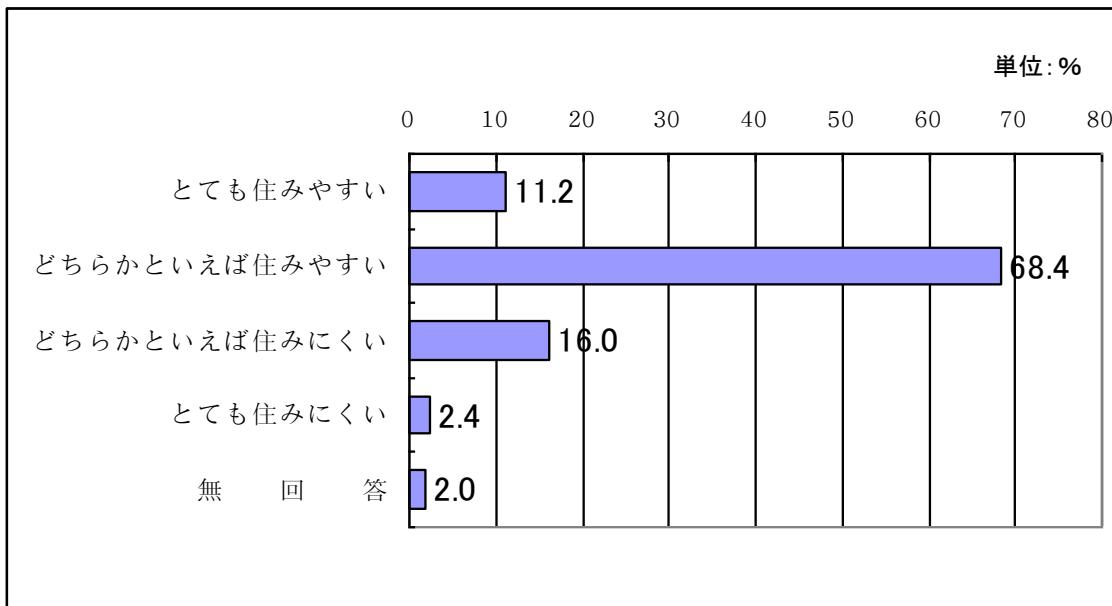
回答者の65歳以上の家族の有無は、「いる」39.4%、「いない」58.1%となった。「いる」が前回調査より約15%減少した。



(7) 住みやすさ（問7）

「どちらかといえば住みやすい」68.4%、と極めて多く、「とても住みやすい」11.2%とあわせると約8割が住みやすいと感じている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」をあわせた数は18.4%となつた。

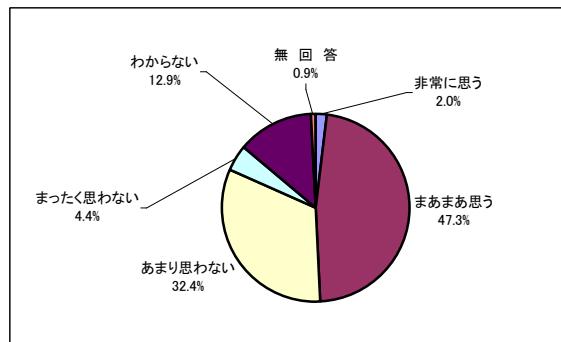


2. 政策の実施効果

<8-1>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱1

掛川市は、安心して子どもを生み育てる環境が整っているまちだと思いますか？



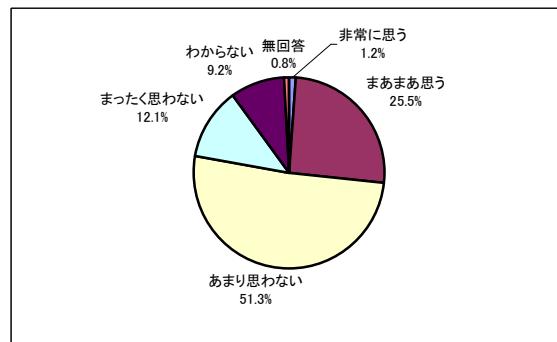
「非常に思う」2.0%、「まあまあ思う」47.3%と肯定的回答が約半数を占めた。

「あまり思わない」32.4%、「まったく思わない」4.4%と否定的回答は約4割となった。

<8-3>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱3

掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？

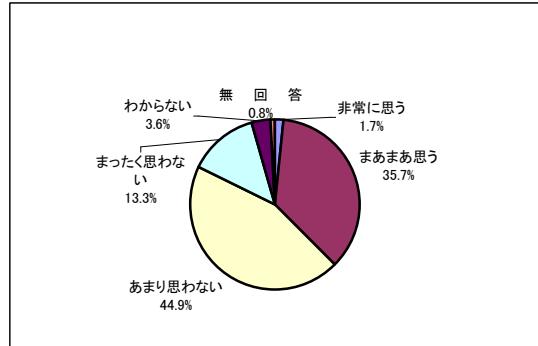


「非常に思う」1.2%、「まあまあ思う」25.5%であり、「あまり思わない」51.3%、「まったく思わない」12.1%と否定的回答が約6割を占めた。

<8-2>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱2

掛川市は、病気やケガなど万一の時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

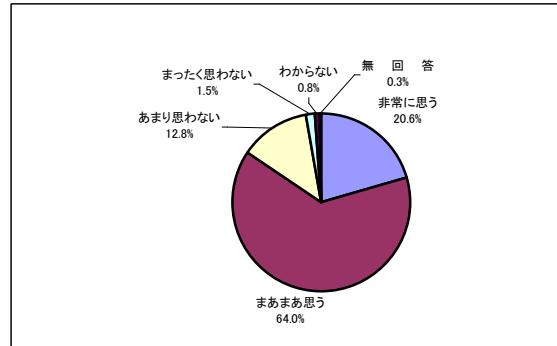


「非常に思う」1.7%、「まあまあ思う」35.7%であり、「あまり思わない」44.9%、「まったく思わない」13.3%と否定的回答が約6割となった。

<8-4>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱1

あなたは常日頃、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

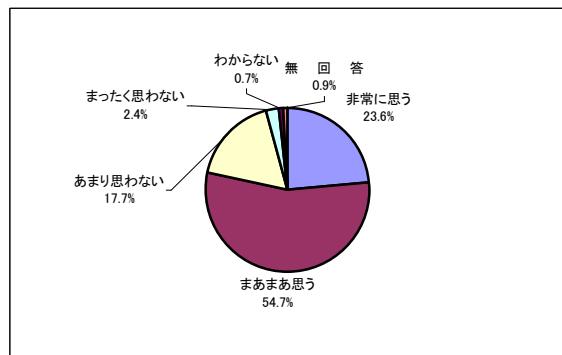


「非常に思う」20.6%、「まあまあ思う」64.0%と肯定的回答が約8割と非常に高い数値を得た。「あまり思わない」12.8%、「まったく思わない」1.5%で否定的回答は少数に留まった。

<8-5>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱2

あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？



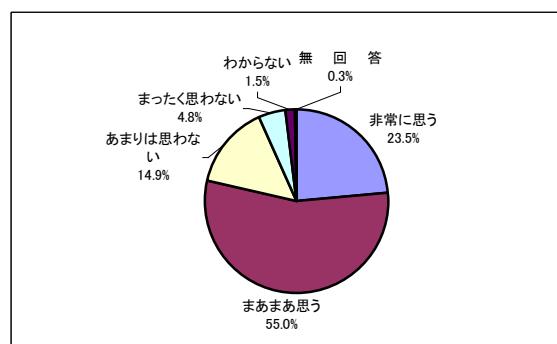
「非常に思う」23.6%、「まあまあ思う」54.7%と肯定的回答が約8割と非常に高い数値を得た。

否定的回答は、20.1%に留まった。

<8-7>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3 基本計画3

あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く、安定して供給されていると思いますか？

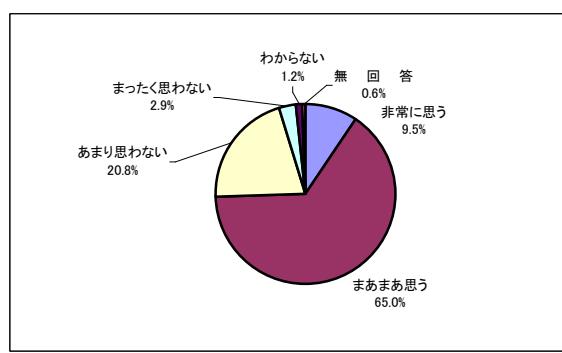


「非常に思う」23.5%、「まあまあ思う」55.0%と肯定的回答が約8割と非常に高い数値を得た。否定的回答は19.7%であった。

<8-6>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？

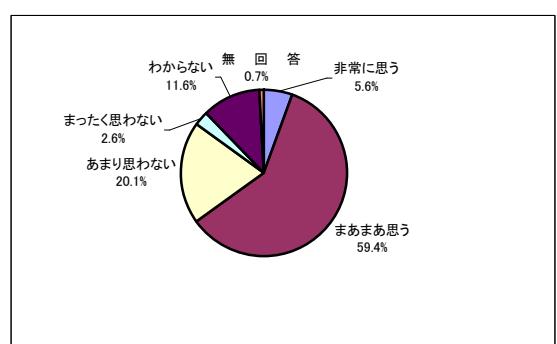


「非常に思う」9.5%、「まあまあ思う」65.0%と肯定的回答が7割を超える高い数値を得た。否定的回答は23.7%であった。

<8-8>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱1

あなたは、地域の子ども達が、心身ともに健全に成長していると思いますか？

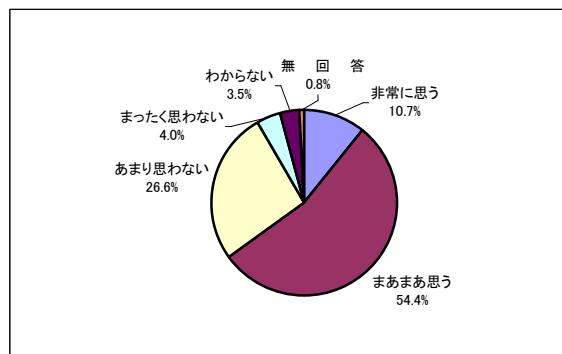


「非常に思う」5.6%、「まあまあ思う」59.4%と肯定的回答が6割を超えた。否定的回答は22.7%であった。

<8-9>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2

あなたは、健康に気づかい生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

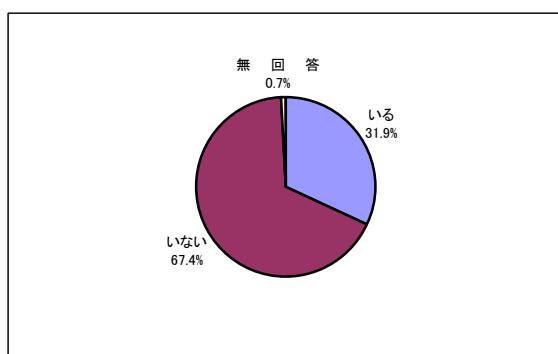


「非常に思う」10.7%、「まあまあ思う」54.4%と肯定的回答が6割を超えていた。否定的回答は30.6%であった。

<8-11>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画2

あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしてていますか？

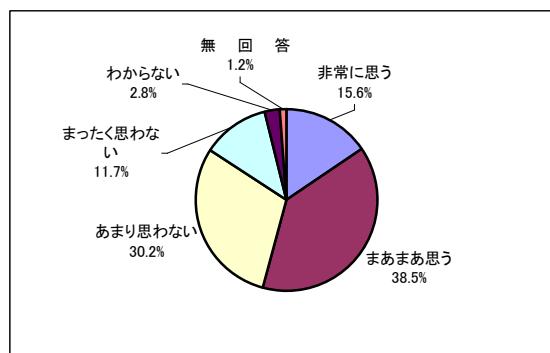


「いる」31.9%、「いない」67.4%であり、否定的回答が多くを占めた。

<8-10>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画1

あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

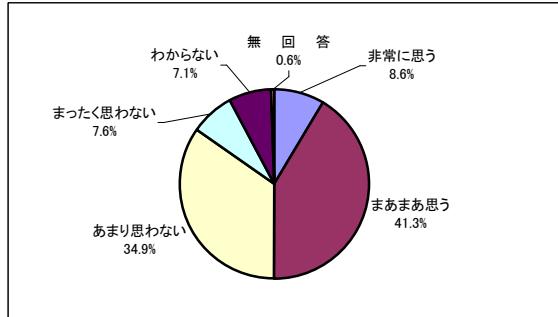


「非常に思う」15.6%、「まあまあ思う」38.5%と肯定的回答が5割を超えたが、否定的回答も4割を越す回答となつた。

<8-12>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱3

あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

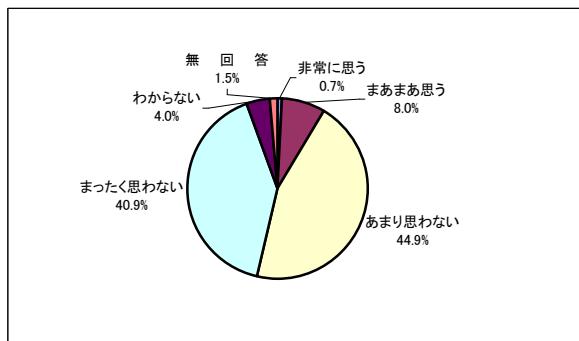


「非常に思う」8.6%、「まあまあ思う」41.3%と肯定的回答が約5割となったが、否定的回答も4割を越す回答となつた。

<8-13>※総合計画 成果指標

産業経済分野 大綱4

掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

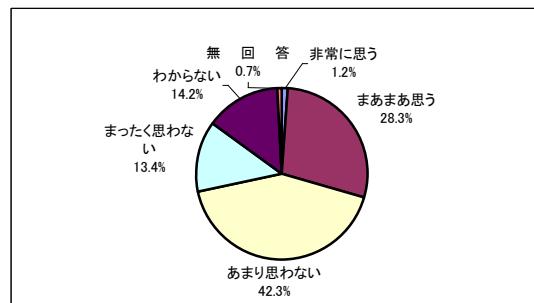


「非常に思う」0.7%、「まあまあ思う」8.0%と肯定的回答が1割に満たない極めて少く、「あまり思わない」44.9%、「まったく思わない」40.9%と否定的回答が8割以上と非常に多い結果となった。

<8-15>※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

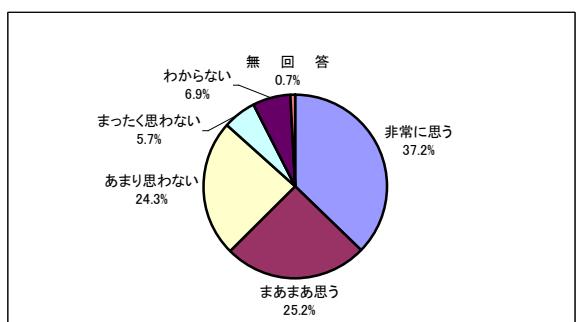


「非常に思う」1.2%、「まあまあ思う」28.3%と肯定的回答が3割に満たず、「あまり思わない」42.3%、「まったく思わない」13.4%と否定的回答が5割を越えた。

<8-14>※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱2

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

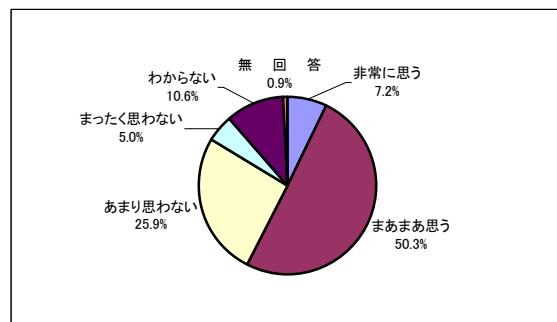


「非常に思う」37.2%、「まあまあ思う」25.2%と不便を感じている割合が6割を超えた。
「あまり思わない」24.3%、「まったく思わない」5.7%と不便を感じていない割合が3割という結果となった。

<8-16>※総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱1

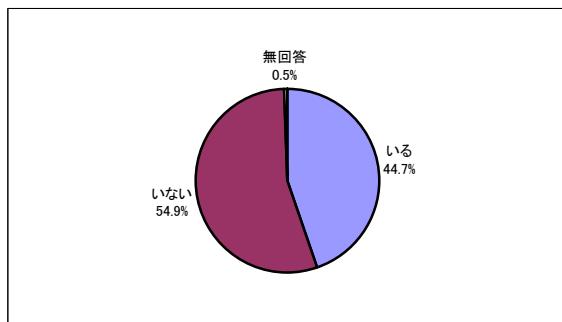
あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？



「非常に思う」7.2%、「まあまあ思う」50.3%肯定的回答が約6割となり自覚をもっていることがうかがえた。しかし、否定的回答も、3割を超えた。

<8-17>※総合計画 成果指標

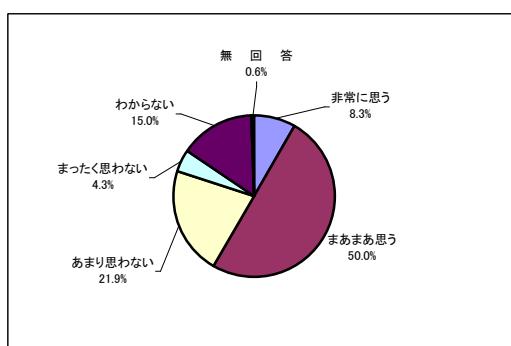
防災危機管理分野 大綱1 基本計画1
あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか？



「いる」44.7%、「いない」54.9%で、準備をしていないとの回答が過半数となった。

<8-18>※総合計画 成果指標

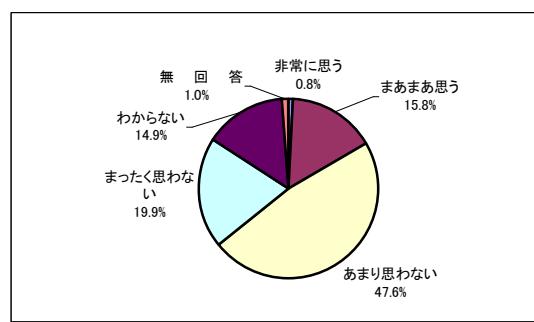
防災危機管理分野 大綱2
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか？



「非常に思う」8.3%、「まあまあ思う」50.0%と肯定的回答が約6割となった。否定的回答は26.2%であった。

<8-19>※総合計画 成果指標

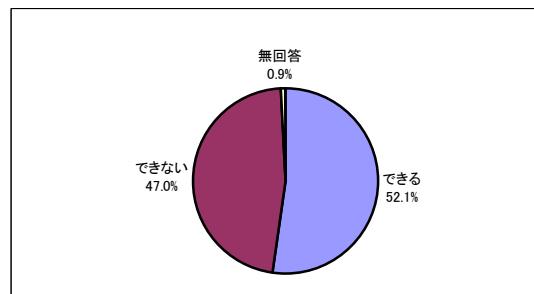
協働広域行財政分野 大綱1
あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか？



肯定的回答が2割に満たず、「あまり思わない」47.6%、「まったく思わない」19.9%と否定的回答が約7割となった。

<8-20>※総合計画 成果指標

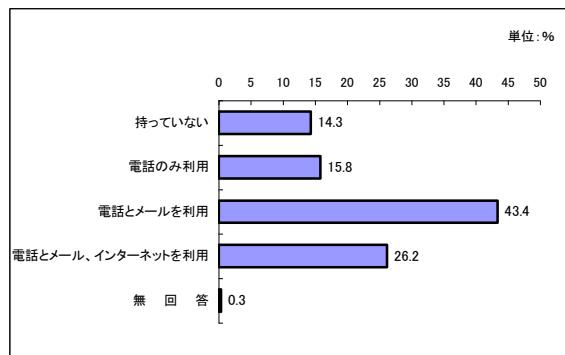
協働広域行財政分野 大綱1 基本計画3
あなたは、自宅でインターネットを利用することができますか？



「できる」52.1%、「できない」47.0%で「できる」との回答が若干上回った。

<8-21>

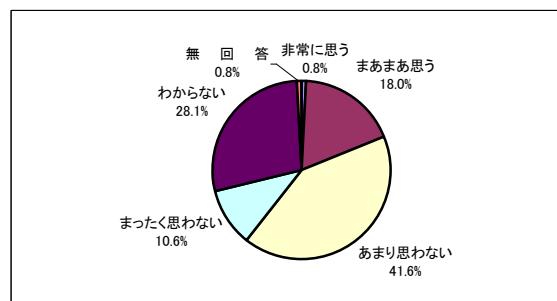
あなたは、携帯電話をお持ちですか？お持ちは場合は、どのようにお使いですか？



85.4%の方が携帯電話を持っており、使用目的は「電話とメールを利用」が最も多く、次いで「電話とメール、インターネットを利用」となった。

<8-23>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2 基本計画3
掛川市は、他の自治体に比べ情報公開や情報提供が進んでいると思いますか？



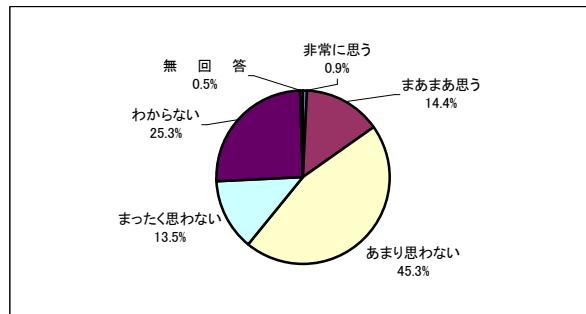
「非常に思う」0.8%、「まあまあ思う」18.0%肯定的回答が2割に満たなかった。

「あまり思わない」41.6%「まったく思わない」10.6%と否定的回答が5割を越えた。

また、「わからない」も28.1%と約3割となつた。

<8-22>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2
掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？

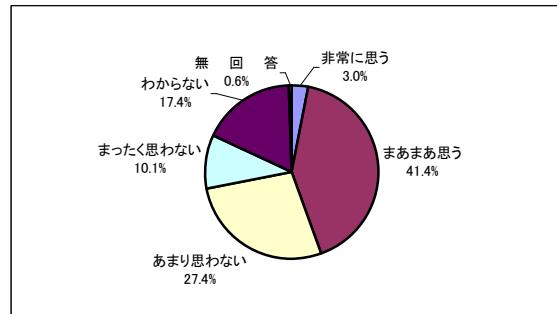


肯定的回答が2割に満たず、「あまり思わない」45.3%「まったく思わない」13.5%と否定的回答が約6割となつた。

また、「わからない」も25.3%と2割を越えた。

<8-24>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2 基本計画4
あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？



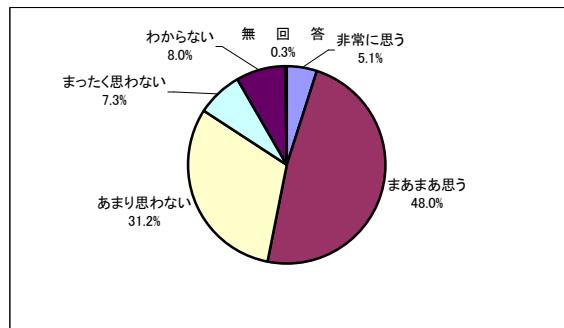
「非常に思う」3.0%、「まあまあ思う」41.4%と肯定的回答が4割を越えた。

「あまり思わない」27.4%「まったく思わない」10.1%と否定的回答が約4割となつた。

<8-25>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？



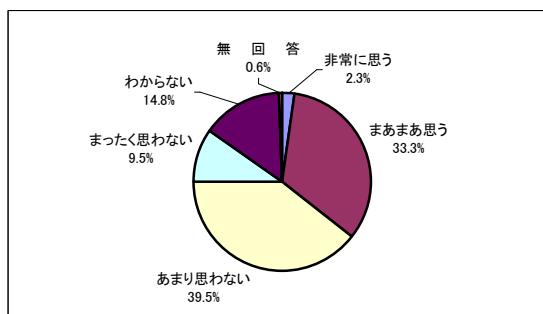
「非常に思う」 5.1%、「まあまあ思う」 48.0%と肯定的回答が 5割を超えた。

否定的回答は約 4割となった。

<8-27>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱4

あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか？

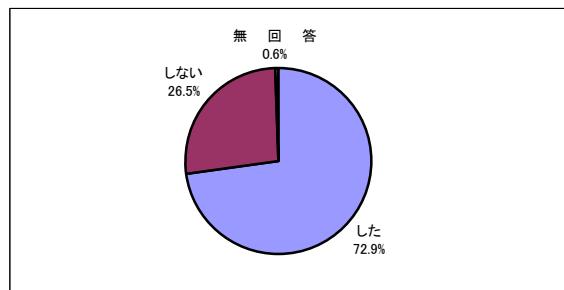


肯定的回答が 35.6%、「あまり思わない」 39.5%、「まったく思わない」 9.5%と否定的回答が約 5割となった。

<8-26>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3 基本計画1

あなたは、一年間に一回以上、地域の活動（奉仕活動やイベントなど）に参加しましたか？



「した」が 7割を超え、「しない」は 3割に満たなかった。

3. 政策に対する満足度と優先度

ポートフォリオによる分析

ポートフォリオ分析とは、48 施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとてグラフ化し、各施策の分布状態から、効果的な投資を判断しようとするものである。座標の原点は、満足度と優先度の両者との平均値としている。各象限に位置づけられた施策は 48 施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができる。

（1）満足度と優先度の分析結果 （※ P 16 のポートフォリオグラフ表を参照）

①満足度も優先度も高い施策 — B ゾーン（グラフ右上側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も高い施策となる。サービスが一定の水準に到っているが、重要度が高いことから積極的に現状維持する施策となる。

【満足度も優先度も高い施策】

- ・ 2 市民の健康づくり
- ・ 7 高齢者福祉の充実
- ・ 10 地球環境の保全・地球温暖化の防止
- ・ 11 資源循環型社会の構築
- ・ 15 水質浄化の推進
- ・ 16 上水道の安全・安心・安定的な供給
- ・ 17 学校教育の充実
- ・ 18 乳幼児教育・保育の充実
- ・ 19 青少年の健全育成
- ・ 34 防災体制の強化
- ・ 36 消防救急体制の強化
- ・ 37 交通安全対策の強化
- ・ 38 防犯対策の強化

②満足度が低く、優先度が高い施策 — A ゾーン（グラフ左上側）

48 施策の比較では、満足度が低く、優先度が高い施策になる。サービスの水準が低く、重要度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策になる。

【満足度が低く優先度が高い施策】

- ・ 1 子育て・子ども支援の充実
- ・ 3 地域医療・救急医療の充実
- ・ 4 高度医療を支える市立総合病院の充実
- ・ 5 国民健康保険事業の健全運営
- ・ 6 障害者福祉の充実
- ・ 23 商工業の振興
- ・ 24 雇用の確保や勤労者福祉の充実

- ・28 農業の振興
- ・35 住宅や公共施設の耐震化など災害対策の強化
- ・42 行政改革の推進
- ・43 財政構造改革の推進

③満足度も優先度も低い施策 － Cゾーン（グラフ左下側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になる。サービスの水準は低いが、重要度も低いので、市民の不満の要因を把握しながらも、当面、現状を注視する施策となる。

【満足度も優先度も低い施策】

- ・27 市街地の活性化
- ・29 幹線道路の整備
- ・31 公共交通の利便性向上
- ・32 計画的でバランスの取れた土地利用の推進
- ・40 国内・国際交流の推進と外国人の共生
- ・46 広域行政への取り組み
- ・48 男女共同参画の推進

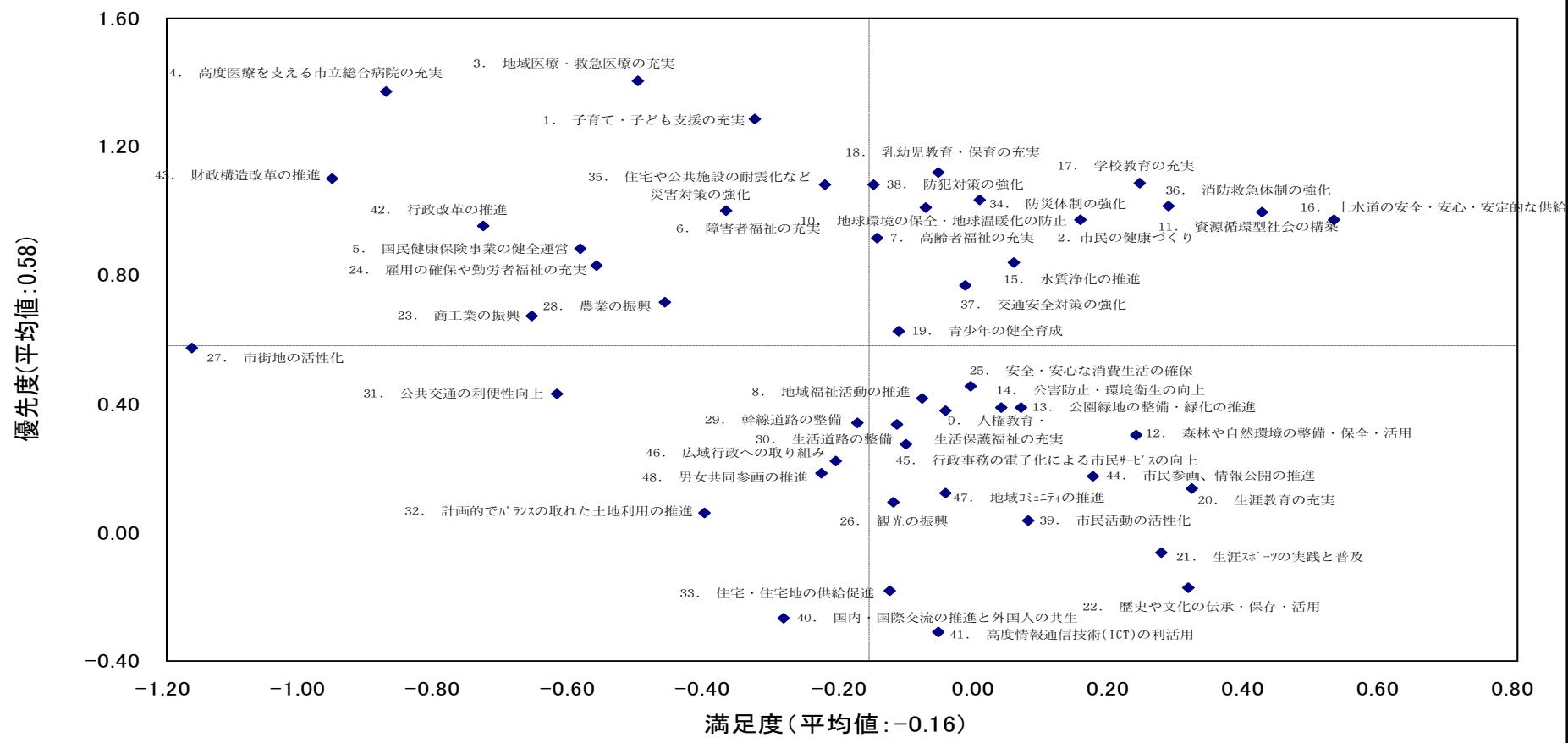
④満足度が高く優先度は低い施策 － Dゾーン（グラフ右下側）

48 施策の比較では、満足度が高く、優先度が低い施策になる。サービスが一定の水準に到っていることから、今後、撤退を検討する施策になる。

【満足度が高く優先度は低い施策】

- ・8 地域福祉活動の推進
- ・9 人権教育・生活保護福祉の充実
- ・12 森林や自然環境の整備・保全・活用
- ・13 公園緑地の整備・緑化の推進
- ・14 公害防止・環境衛生の向上
- ・20 生涯教育の充実
- ・21 生涯スポーツの実践と普及
- ・22 歴史や文化の伝承・保存・活用
- ・25 安全・安心な消費生活の確保
- ・26 観光の振興
- ・30 生活道路の整備
- ・33 住宅・住宅地の供給促進
- ・39 市民活動の活性化
- ・41 高度情報通信技術（ＩＣＴ）の利活用
- ・44 市民参画、情報公開の推進
- ・45 行政事務の電子化による市民サービスの向上
- ・47 地域コミュニティの推進

■市民意識調査のポートフォリオ分析

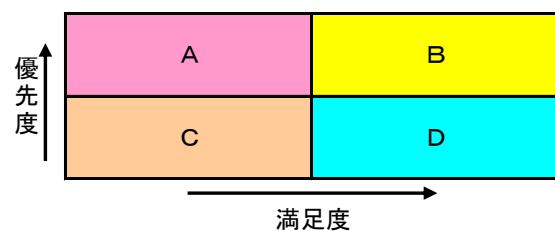


(凡例)

A	B
C	D

- Aゾーン: 積極的に投資する施策分野
- Bゾーン: 積極的に現状維持する施策分野
- Cゾーン: 現状維持する施策分野
- Dゾーン: 投資量を縮小する施策分野

(2)象限(ゾーン)別の経年変化



区分	H19	H20
Aゾーン	市立総合病院 地域医療・救急医療 財政構造改革 子育て・子ども支援 耐震・防災基盤 行政改革 雇用対策・労働者福祉 障害者福祉 国民健康保険 地球環境保全 幹線道路整備 生活道路整備 商工業振興	市立総合病院 地域医療・救急医療 財政構造改革 子育て・子ども支援 耐震・防災基盤 行政改革 雇用対策・労働者福祉 障害者福祉 国民健康保険 農業振興 商工業の振興
Bゾーン	防災体制 幼稚園・保育園 防犯対策 高齢者福祉 学校教育 消防救急体制 下水道 上水道 交通安全 青少年健全育成 保健予防 廃棄物処理	防災体制 幼稚園・保育園 防犯 高齢者福祉 学校教育 消防救急体制 下水道 上水道 交通安全 青少年健全育成 保健予防 廃棄物処理 地球環境保全
Cゾーン	中心市街地 公共交通 農業振興 土地利用 人権・生活保護 男女共同参画 広域行政 高度情報化(ICT) 国際交流・外国人共生	中心市街地 公共交通 土地利用 男女共同参画 広域行政 幹線道路整備 国際交流・外国人共生
Dゾーン	消費生活 市役所サービス 公害防止・環境衛生 地域福祉活動 住宅・宅地 公園緑地 観光振興 地域コミュニティ 市民活動・協働 森林自然 情報公開・市民参画 スポーツ・レクリエーション 生涯学習 歴史・文化	消費生活 市役所サービス 公害防止・環境保全 地域福祉 住宅・宅地 公園緑地 観光振興 地域コミュニティ 協働まちづくり 森林・自然 市民参画・情報公開 スポーツ・レクリエーション 生涯学習 歴史・文化 人権・生活保護 生活道路整備 高度情報化(ICT)

(3)「満足度」の経年変化

■考察

順位	H19	H20	順位比較
1位	廃棄物処理	上水道	↗
2位	上水道	産廃物処理	↘
3位	歴史・文化	生涯学習	↗
4位	生涯学習	歴史・文化	↘
5位	森林・自然	消防救急体制	↗
6位	保健予防	スポーツ・レクリエーション	↗
7位	消防救急体制	学校教育	↗
8位	学校教育	森林・自然	↘
9位	スポーツ・レクリエーション	市民参画・情報公開	↗
10位	公園緑地	保健予防	↗
11位	市民参画・情報公開	協働まちづくり	↗
12位	公害防止・環境保全	公園緑地	↘
13位	観光振興	下水道	↗
14位	交通安全	公害防止・環境保全	↘
15位	地域コミュニティ	防災体制	↗
16位	協働まちづくり	消費生活	↗
17位	下水道	交通安全	↘
18位	地域福祉	人権・生活保護	↗
19位	幼稚園・保育園	地域コミュニティ	↘
20位	市役所サービス	高度情報化(ICT)	↗
21位	消費生活	幼稚園・保育園	↘
22位	防犯	地球環境保全	↗
23位	住宅・宅地	地域福祉	↘
24位	防災体制	市役所サービス	↘
25位	青少年健全育成	青少年健全育成	→
26位	高齢者福祉	生活道路整備	↗
27位	人権・生活保護	観光振興	↘
28位	農業振興	住宅・宅地	↗
29位	地球環境保全	高齢者福祉	↘
30位	広域行政	防犯	↗
31位	障害者福祉	幹線道路整備	↗
32位	男女共同参画	広域行政	↗
33位	耐震・防災基盤	耐震・防災基盤	→
34位	高度情報化(ICT)	男女共同参画	↗
35位	国際交流・外国人共生	国際交流・外国人共生	→
36位	国民健康保険	子育て・子ども支援	↗
37位	生活道路整備	障害者福祉	↗
38位	子育て・子ども支援	土地利用	↗
39位	地域医療・救急医療	農業振興	↘
40位	土地利用	地域医療・救急医療	↗
41位	幹線道路整備	雇用対策・労働者福祉	↗
42位	雇用対策・労働者福祉	国民健康保険	↗
43位	行政改革	公共交通	↗
44位	商工業の振興	商工業の振興	→
45位	公共交通	行政改革	↗
46位	市立総合病院	市立総合病院	→
47位	財政構造改革	財政構造改革	→
48位	中心市街地	中心市街地	→

分野別	「満足度」の経年変化における特筆点
☆保健医療 福祉系	「保健予防」に関する満足度は比較的上位となっている。しかし、医療に関する「地域医療・救急医療」及び「市立総合病院」の満足度は、医師不足、市立総合病院の統合問題など将来に対する不安からか、極めて下位で推移している。
☆環境生活系	満足度が最も高い分野である。この分野では最下位だった「地球環境保全」の項目の満足度も前年より上昇している。これは、環境問題に対する様々な取組が市民へ浸透してきたことがうかがえる。
☆教育文化系	この分野の満足度は、概ね上位で推移している。ただし、「幼稚園・保育園」及び「青少年健全育成」については若干の危惧を抱いている印象を受ける。
☆産業経済系	この分野の満足度は、前年は中位から下位に多く位置していた。今回調査では「観光振興」及び「農業振興」の満足度が大きく下降している。「観光振興」は大河ドラマ、戦国の館などが終了したことによる反動が大きいと思われる。さらに、「中心市街地」に関しては、前年同様に最下位となった。
☆都市基盤系	この分野の満足度は、中位から下位に多く位置している。ただし、「生活道路整備」及び「幹線道路整備」の満足度は大きく上昇している。これは、高瀬線及び南北道の整備推進によるものと思われる。
☆防災系	この分野の満足度は、前年同様に上位から中位に多く位置している。「消防救急体制」については上位を保っているが、「耐震・防災基盤」は前年同位で下位に位置している。
☆協働・広域・行財政	この分野では、「市民参画・情報公開」及び「協働まちづくり」に関する地域コミュニティ関連項目は比較的高い満足度を得ていることがわかる。しかし、「行政改革」及び「財政構造改革」に関する項目は前年同様に極めて下位に位置している。

(4)「優先度」の経年変化

■考察

順位	H19	H20	順位比較
1位	地域医療・救急医療	地域医療・救急医療	→
2位	市立総合病院	市立総合病院	→
3位	子育て・子ども支援	子育て・子ども支援	→
4位	耐震・防災基盤	幼稚園・保育園	→
5位	幼稚園・保育園	財政構造改革	→
6位	防災体制	学校教育	→
7位	学校教育	耐震・防災基盤	→
8位	財政構造改革	防犯	→
9位	防犯	防災体制	→
10位	消防救急体制	消防救急体制	→
11位	地球環境保全	地球環境保全	→
12位	保健予防	障害者福祉	→
13位	障害者福祉	廃棄物処理	→
14位	高齢者福祉	保健予防	→
15位	上水道	上水道	→
16位	廃棄物処理	行政改革	→
17位	国民健康保険	高齢者福祉	→
18位	行政改革	国民健康保険	→
19位	交通安全	下水道	→
20位	雇用対策・労働者福祉	雇用対策・労働者福祉	→
21位	下水道	交通安全	→
22位	青少年健全育成	農業振興	→
23位	幹線道路整備	商工業の振興	→
24位	生活道路整備	青少年健全育成	→
25位	商工業の振興	中心市街地	→
26位	中心市街地	消費生活	→
27位	農業振興	公共交通	→
28位	消費生活	地域福祉	→
29位	公共交通	公害防止・環境保全	→
30位	公害防止・環境保全	公園緑地	→
31位	市役所サービス	人権・生活保護	→
32位	人権・生活保護	幹線道路整備	→
33位	公園緑地	生活道路整備	→
34位	地域福祉	森林・自然	→
35位	住宅・宅地	市役所サービス	→
36位	森林・自然	広域行政	→
37位	市民参画・情報公開	男女共同参画	→
38位	男女共同参画	市民参画・情報公開	→
39位	広域行政	生涯学習	→
40位	土地利用	地域コミュニティ	→
41位	観光振興	観光振興	→
42位	地域コミュニティ	土地利用	→
43位	生涯学習	協働まちづくり	→
44位	協働まちづくり	スポーツ・レクリエーション	→
45位	スポーツ・レクリエーション	歴史・文化	→
46位	歴史・文化	住宅・宅地	→
47位	高度情報化(ICT)	国際交流・外国人共生	→
48位	国際交流・外国人共生	高度情報化(ICT)	→

区分	分野	「優先度」の経年変化における特筆点	コメント
☆第1位グループ	保健医療 福祉	優先度上位3位の「地域医療・救急医療」、「市立総合病院」、「子育て・子ども支援」は、順位変動なし。	健康を守る意識の高さ、子どもの養育に対する意識の高さがうかがえる。
☆第2位グループ	防災危機 管理 教育文化	多少の順位変動はあるが、防災系及び幼保・学校教育は常に高い位置を占めている。このグループの中では「財政構造改革」が大きく上昇している。財政の健全化を優先する意識が高まっていることがうかがえる。 環境生活分野では「地球環境保全」が最上位になっており、関心の高さがうかがえる。	安心・安全な暮らしに対する意識の高さがうかがえる。
☆第3位グループ	保健医療 福祉 環境生活	多少の順位変動はあるが、常に中位を占めている分野である。このグループの中では「産廃物処理」、「行政改革」が少し上昇している。 「行政改革」の優先度は、上昇傾向がうかがえる。	健康を守る意識の高さと、近年の行政改革に関する意識が高まっている状況がうかがえる。
☆第4位グループ	産業経済	このグループは、主に産業経済分野が占めている。「中心市街地」については、満足度で2年連続最下位であったが、優先度は中位とそれほど高くなっていない。	産業経済分野は、優先度がほぼ中位に位置していることがわかる。
☆第5位グループ	都市基盤 環境生活	このグループは、主に都市基盤分野が占めている。「公共交通」の優先度は、上昇傾向がうかがえる。 上位に位置する傾向の高い保健医療福祉分野の中においては「地域福祉」、「人権・生活保護」が、非常に低い位置であることがわかる。 道路整備については、H19の調査では中位であったが、下位に位置している。	公共交通については、バス路線の開通など、一定の評価が現れている。「地域福祉」、「人権・生活保護」は、市民に浸透していない現状がうかがえる。 道路整備は、高瀬線及び南北道の整備によるものと思われる。
☆第6位グループ	協働・広域・行財政	このグループは、主に協働・広域・行財政分野が占めている。前年より「市役所サービス」の優先度が下落し、「生涯学習」が上昇している。その他の変化はあまり感じられない。	「市役所サービス」が向上したことと、「生涯学習」に対する意識が高まっていることがうかがえる。
☆第7位グループ	教育文化 協働・広域・行財政	「住宅・宅地」が大きく下降している。その他の変化はあまり感じられない。	このグループのH20調査の優先度の評価はマイナスとなっており、市民は優先する必要はない感じていることが強くうかがえる。

第3章 抽出集計結果

(1) 集計の目的

市民の関心が高い政策について、集計対象を限定することで、より適切な調査結果を得られる調査項目について、抽出集計を行う。

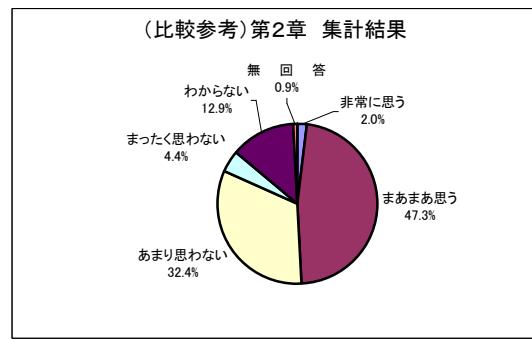
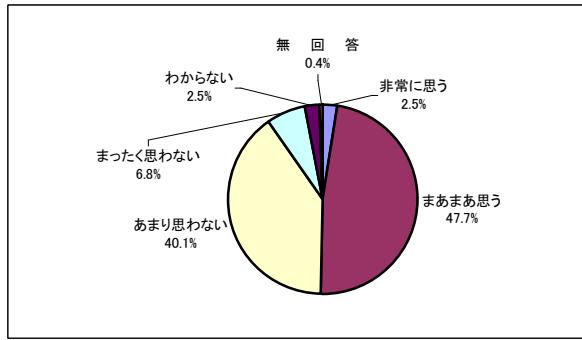
(2) 対象者

- ①同居家族の中に高校生以下の子どもがいる者
- ②同居家族の中に65歳以上の方がいる者

①の集計結果

〈8-1〉

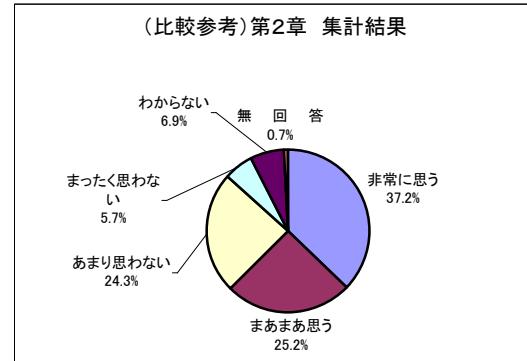
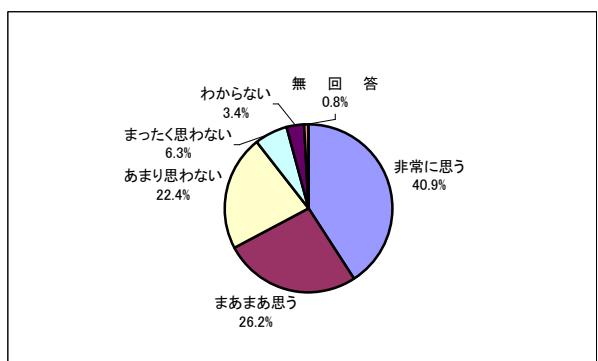
掛川市は、安心して子どもを生み育てる環境が整っているまちだと思いますか？



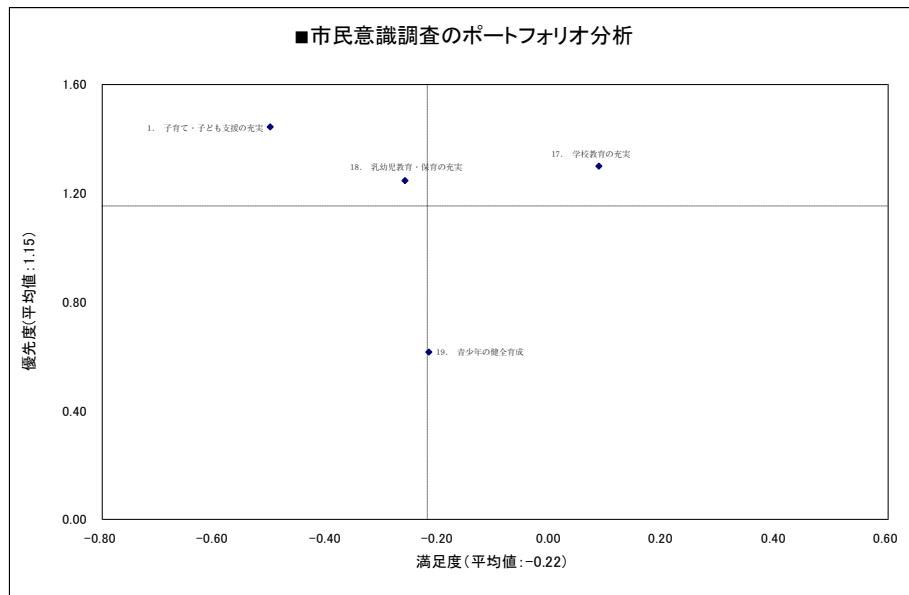
第2章の集計結果では肯定的回答が49.3%であったのに対し、この集計では50.2%と微増した。否定的回答は36.8%に対し46.9%と約1割増加した。

〈8-14〉

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？



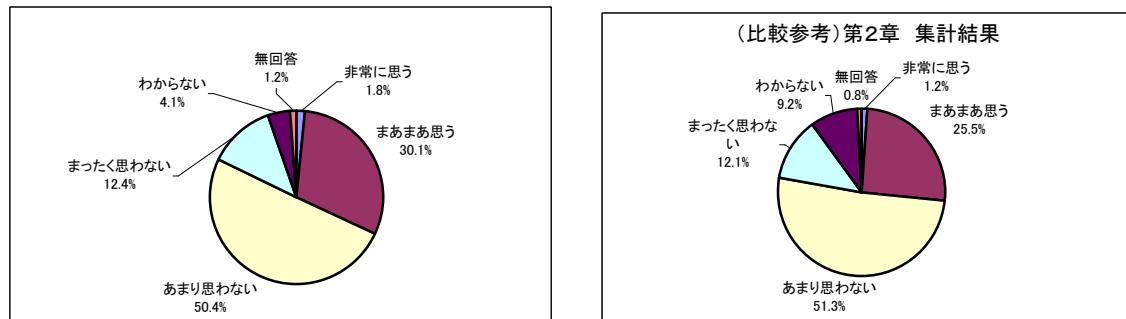
第2章の集計結果では不便を感じている割合が62.4%であったのに対し、この集計では67.1%と約5%増加した。不便を感じていない割合は30.0%に対し28.7%と微減した。



②の集計結果

〈8-3〉

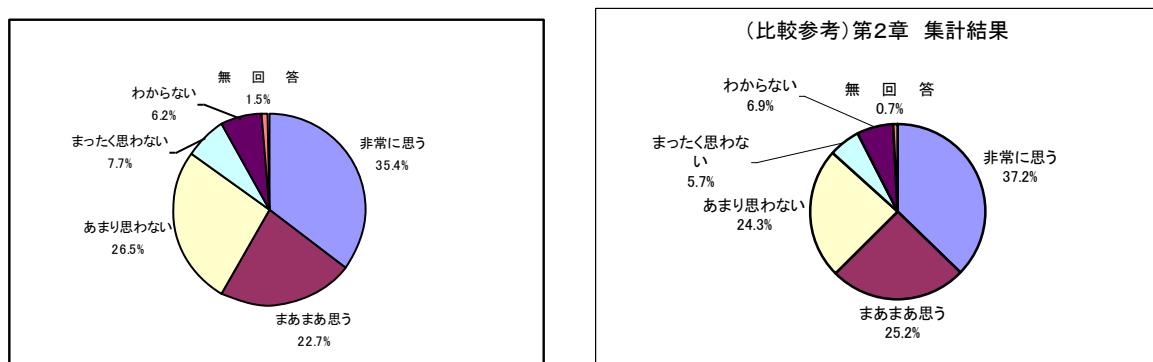
掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？



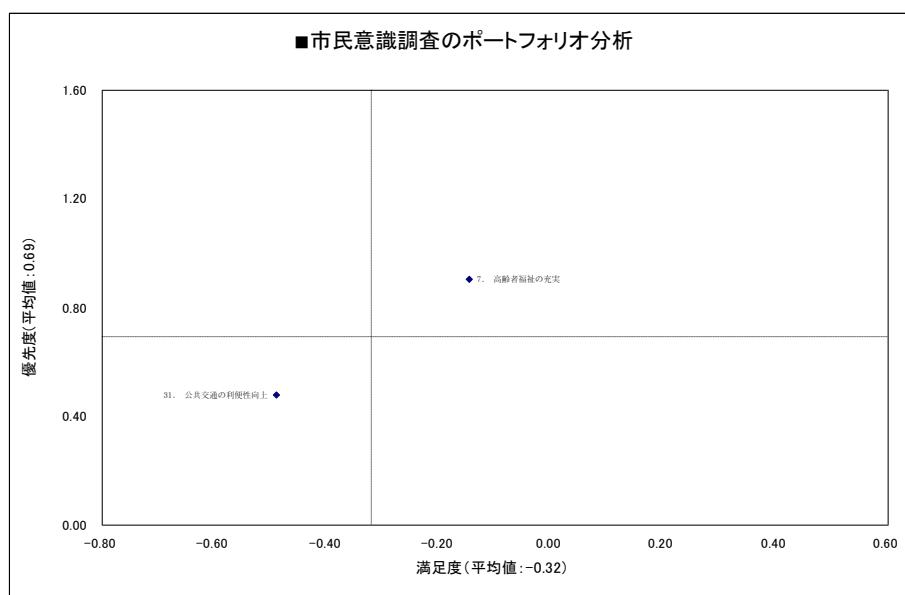
第2章の集計では肯定的回答が26.7%であったのに対し、この集計では31.9%と約5%増加した。否定的回答は63.4%に対し62.8%と微減した。

〈8-14〉

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？



第2章の集計では不便を感じている割合が62.4%であったのに対し、この集計では58.1%と約5%減少した。不便を感じていない割合は30.0%に対し34.2%と約5%増加した。



第4章　自由回答結果　(主な意見)

【保健医療福祉分野】

1. 掛川病院は掛川市の中心医療機関として統合はしないでいただきたい。後期高齢者になろうとしている時期に病院がなくなると住む場所を考えざるを得ない。
2. 市立病院の現状分析（午後は暇、外国人多し）をし、もし医師不足等があれば、インド等医学が進んでいる国より医師を招くか、光ケーブルを使ったインターネット診察等を取り入れる。
3. 新病院について、よりよい病院を作つて欲しいと思います。病院内は明るく、今の病院はいかにも病人がいるという感じがします。
4. 一番の心配は、市立総合病院がどうなるのだろうということです。市民が安心して生活していくために、是非、医師等の確保をお願いします。
5. 看護師をしていますが、袋井・掛川市民病院の統合について不安です。医師不足で、これから高齢者社会の医療が成り立つのでしょうか？統合しても病院の規模が小さくなるのであれば、統合することに意味があるとは思えません。
6. 新病院には病室や治療設備の他に、癒やされる空間がほしいと思います。名古屋大学病院のナディックを見た時、こんな素晴らしいものでなくても、地域の病院にこんな場所があったら患者さんは救われると思いました。
7. 新病院構想は広域行政の取り組みの最たるもの。両市民、医療関係者、行政の利害は異なりますから慎重に。
8. 医療の充実、建物設備もそうですが、信頼できる経験豊かなD r が沢山いるH ・ P を作つて欲しいと思います。
9. 救急で病院へかかったがひどかった。重病人を優先するのは当たり前だけれど、他の人への対応が悪い。子どもを連れて来ていた人が怒って不満を言っていたが、「医師不足で」という対応。きっと医師が増えたところで、あの病院は良くならないと思う。安心できる病院のためにもっとお金をかけて良いのでは。
10. 他の市と違って夜間救急がないのには驚きました。特に子供が病気の時大変困ります。
11. 私の周辺で最近人が亡くなりますが、ほとんどの方が掛川市立病院の医療技術、対応に対する不満、不備を指摘しています。「声なき声です」この地区は緊急の場合、高度医療を受ける病院を自分で選択する余地はほとんどありません。

12. 乳ガン検診は今は40歳以上ですが、若年代となっているので、30歳位まで引き下げた方が良いと思います。できればもっと早いほうがいいとは思いますが。
13. 合併してから健診料が高くなったり、婦人科健診は1年おきに健診するようになり、毎年、健診したい場合は自費になり大変です。
14. 先日、子供の健診に行きましたが、待ち時間がとても長かったです。保健師さんはたくさんいたのに…もう少し段取りよくやってほしいです。
15. 旧大東町の時は健康診断が20才以上から実施していたことが、掛川市に統合されてから40才以上に変わってしまったことが、とても不満に思います。
16. ホームヘルパー派遣、朝夕2度ヘルパ一家事をして帰る家がありますが、障害の軽いただ耳が聞こえないだけの人が、家には息子と2人暮らしで毎日2度も来るのは介護保険のムダ使いだと思う。
17. 近くに出産できる病院が無かったり、子供が突然体調をくずした時に当番医となる病院が遠くて困った経験があるので、もっと安心して子供を産み育てられる環境についていただきたいです。
18. 「上から手を差しのべる」という発想がまだはびこっているように思います。老いたり、障害をもった人が堂々と普通に生きていくことができる、安心できる町をつくっていきたい。

【環境生活分野】

1. 可燃ゴミのほとんどが生ゴミですが、アパート暮らしで埋める所もなく、何か別の方法で処理できればだいぶゴミの量が減ると思うのですが…。
2. 近年、外国人も多くなり、トラブルの発生にもなっています。特にゴミの出し方等どうすれば良いのか?言葉が通じない事もあり、市でも考えてくれれば。
3. ごみの分別は、近隣の市でやっているように各地域で日(または曜日)を決めて集める方が良い。燃えるごみ、ビニールと同じ場所で集めてほしい。(缶、ビン e t c)
4. ゴミ置き場にて抜き打ち調査、検査があるようだが、そのような時間があるのならまずゴミ拾いをして下さい。ゴミの分別はどこの家も気にしてやっていますから。
5. ゴミの分別が細かすぎる。プラも燃やせる焼却炉にしてほしい。分別が細かく、うるさすぎて高齢者には無理があり、大変住みにくいところに感じる。環境保護も大変だが分別の限度を超えていて。ゴミ当番がありプライバシーの侵害である。
6. ゴミ回収ですが、菊川市のようにビンや缶などいつでも置きにいける場があると助かります。
7. マンションやアパートが急激に増え、ゴミ収集日に関係なく出す人や分別しないでスーパーの袋に入れてだす人等、ゴミを平気で畠や線路沿いに捨てる人で頭を悩ませています。
8. ゴミ出しに対する意識をもっと各個人持ってもらうため、守らない人が守らざるを得ないような、何かいい方法を考えていきたい。
9. 子隣近辺の道路(県道)が整備されましたが、周辺道路はこれに伴って交通量が増加し、コンビニの残飯入りのビニール袋等の不法投棄が目立ち汚れが増加したように思えます。市民のモラル低下をどのようにくい止めていくか。
10. 未だに、枯れ草などを燃やす人がいます。洗濯物や布団などへの臭い移り、私は臭いを嗅ぐと頭が痛くなります。
11. J R 掛川駅は掛川市の「玄関」であるので、鳥のふんによる悪臭は非常にまわりの環境を悪くしている。
12. 犬の飼い主のマナーの悪さに困っています。(トイレの後始末、尿の臭い等)
13. 合併浄化槽を設置し、川をきれいにしようと思っている反面、犬の散歩でシャベルを持ち袋を持たず、とった粪を川へ投げ入れる人を見かけがっかりする。

14. 草木が生い茂る川にもどしてほしい。必要以上に草を刈らないでほしい。（草を刈ることが美化とは思えない）
15. お城のライトアップは無駄であり、省エネ、温暖化防止に反するものだと思います。
16. 私の大切な郷土が温暖化防止の先進地域となって、後世に誇れるものとなることを切に願っています。昔の歴史や文化だけでなく、これから歴史や文化も観光となるはずです。
17. エコバック推進運動で皆で協力してエコについて考え、良い方向に向かったと思います。
18. 原野谷川の自然を戻し、小笠山の自然を守り、山と川の自然と人間が触れあえる環境を整備してほしい。自然を守ることも大事だが、人が自然に触れることが出来る環境づくりがもっと大切だと思う。
19. 環境生活にもっと力を入れてほしい。市が中心となって市民全員エコ生活！エコ代表の市として全国の代表となってほしい。エコバックがとてもいい例。そういうのを増やしてほしい！

【教育文化分野】

1. 我が子は最初公立の幼稚園に入れましたが、幼保一元化されるという事で今は幼保園に通っています。最初から幼保園という考え方への不安はありました。実際は想像以上にひどく、このままで良いのかという不安と不満を抱えたまま通わせているのが現状です。これは私達親だけでなく、一度は幼稚園に通った事のある子供も感じとっているようです。
2. 幼保園への移り変わりで、桜木地域の幼稚園はこども園になりました。同じ市民なのに公立幼に通える地域、そうでない地域があるのは何故ですか？不公平だと思います。
3. 幼保園をどんどんつくっているのが良くないと思います。幼稚園は幼稚園、保育園は保育園で内容が違うのに、前からある幼稚園や保育園を閉めて一緒にする意味がわかりません。
4. 幼保一元化は、園児にとって何一つメリットは無く、デメリットばかりでかわいそうだった。ここに重なった園児は被害者だと思う。金額ばかり上がりてしまい、公立より活動も園の質、先生の質も悪く、これでは産みたくても産めないし、少子化になって当然！
5. 子供が少なくなる方向だから、子供を大切にして安心して子育てのできる市になってほしい。子育て支援とよく言うけど、言っている事とやっている事が違う。
6. 公立幼稚園、保育園が私立の園と合併し、幼保園となっていますが、保育料の差が大きく、公立から私立へ移った場合、生活費への影響も出ているように感じます。また、希望の園に入れなかつたり、待機児童となつてしまつたりということもあるのでは？
7. 産前、産後の半年間、一時預かり保育がある、どうたっておきながら申込みに行くと「空きがない」というのはいかがなものでしょうか？幼保園が市内にたくさんできましたが、待機児童がいる状況は、私の周囲では全く変わっていません。
8. 子育てや子育てが終わった後の再就職の際の保育園の確保等を明確な形で助成して欲しいです。
9. 保育園に入れなくて困っています。安心して夫婦が働ける環境が欲しいです。
10. 子育て家族に優しい市とは思えません。乳幼児医療を無料にしてもらいたい。幼保園再編のため市立幼稚園に通いたくても通えない。保育料の差がなくなるよう補助を増やしてもらいたい。
11. 外国人について、日本語の全く話せない子供を平気で小学校や保育園に入れる。（そこに先生を一人とられてしまう）何か規制できませんか？
12. 合併前は色々なスポーツ大会がありました。合併と同時に色々なスポーツ大会は行っ

てはいるでしょうが、一般市民には聞こえません。

13. 旧掛川市のように、旧大東町、旧大須賀町でイベントをやっていただけたら嬉しいです。

14. 東高跡地に是非、社会人大学を作つて欲しい。サラリーマンが夕方や休みに書斎みたいに図書館のよう勉強できたり、市民がサークルや趣味を生かせて仲間づくりできるような大学校ができればいいと思う。

15. 小学校の学区の見直し、または、移転、通学時間が長くて不安である。

16. 旧掛川市の中学校の部活動に剣道部を作つてほしい。武道などの部活動をつくってほしい。今年から選択科目になっているので、ぜひ、各校で部をつくってほしいです。

17. 未来を担う子どもたちの為に、教育にお金を使って欲しい。また、子どもたちが文化（音楽・美術）に触れられる場を増やして欲しい。

18. 図書館の分館を造るべき。それぞれの図書館に近い人ほど利用しやすい訳で、遠くの人が利用しにくいのは不平等。

19. 若人達が安心・安全に働く場、地域づくりをお願いします。夢・希望・目標の持てる子供達の教育を。道徳の心得・いたわりの心得等の教え。

【産業経済分野】

1. 私は県外から掛川へ引越してまだ間もないですが、掛川城もあってとてもステキなまちだと思います。駅周辺の商店街をもっと整備して空店舗をなくしてほしいです。
2. 駅周辺の活性化。（商店街、デパートなど）カルチャースクールなど地方でも（街中だけでなく）趣味、楽しみが出来る場所。他の地域、観光客などがきれいな街、みんなに進められるまちであってほしい。
3. 商店街が近回りにあり、徒歩（ウォーキング）で買物できる街づくりをお願いします。駅周辺がもう少しにぎやかだといいなあと感じています。
4. 駅前の通りがとても淋しく感じます。掛川城周辺は、春は桜がとても美しく素晴らしい景色だと感じましたが、そこから少し歩いて駅に近づくにつれ、活気がなくなってしまっているのを感じます。
5. 中心街の活性化は昔から取り組んでいるようですが、結果がどの位でているのかわかりにくいです。
6. 駅から掛川城を見ると人の少なさにびっくりします。あの通りが何度も行きたいと思える何か面白いお店とかあるといいのですが、あの通りに行かないと買えない物とか見られないとかいうものはありません。人を引きつける何かを考えて下さい。
7. 掛川駅前が淋しすぎると思います！家族で入れる店等あるといいと思います。駅（新幹線側）に店がほしい。（ファーストフード店とか、ちょっとした喫茶店）お城（掛川城）前の店の営業時間を長くして欲しいです。（土日祝とか長期休日だけでも）
8. 近年の不況のあおりで特に中心市街地に空き店舗が多く見受けられます。以前は「箱もの」を作れば”まちづくり”と表現された時期もあったと思いますが、これからは小さな店舗一つ一つが活きてからこそ本当の”まちづくり”と考えます。
9. 駅前、駅通り商店街の活性化が急務。「おかみさん会」の奮闘ぶりは素晴らしいと思います。市挙げての支援をすべきだと思います。
10. 駅北の再開発に反対（借金が多いのに何故やるのか？市民のニーズが分かっていない。できても利用しない）
11. 年末の明かりのイベントは、いまいちきれいでなく、昼間の見栄えも悪いのでもっと工夫し、沢山の方が来てくれるようになって欲しい。
12. 子供達が地元に戻ってこれるような就職口が豊富な掛川市にして下さい。
13. 大型のスーパーが西地区に集中していて、東地区には少ない。車で買い物可能な方々

は、遠くでも困らないかもしねないが、自転車や徒歩しかない人達にとっては遠くへ行くことは不可能です。東地区に是非、大型のスーパーを欲しいと思います。

14. 外国からの食糧に頼り、輸入にかけりが見えている分、安心できる国産の食品こそ強みだと思う。（高級な物ではなく、主食の米や野菜など形の悪いB級品もどんどん出してほしい）

15. 農業に力を入れて、スーパーに地元で新鮮ななるべく無農薬のものを地元で購入できるように農業の方を応援！！

16. 農地の荒廃を防ぎ、若者に農業をやりやすい施策が必要です。食糧自給率が向上しないと日本は近い将来、危険な事が起きるような気がします。

17. 雇用の場確保こそ、地域発展の要と考えます。優遇措置等を打ち出し、PRに努め、企業誘致の施策を望みます。

18. 現在世界中で食糧不足になっていますが、もっと自給率を上げるために、使っていない田畠を作物させる行政が必要。作物を作ることにより、農家の生活や若者の育成が進み、自給率がUPに繋がっていけば良いと思う。日本の先頭になれる掛川市を目指して。

19. 「道の駅」（掛川）の駐車場が狭くていつも停められません。（土、日）

【都市基盤分野】

1. 南北道で高瀬より南の道路の整備を早くできる様にして下さい。大東地区で朝、夕は大変混み大変です。
2. 大須賀地区に住んでいて、あまり掛川駅周辺の状態が良く解らないので、同じ掛川なのに遠い地域の話の様な気がします。早く掛川駅と大須賀地区の道路の充実をお願いしたい。
3. 新しい道路など作る時は、本当に必要なのかをよく考えてみて、もっといい道がないのか検討してみたらいいと思います。
4. 高瀬から花鳥園までの道路が完成したけど、あれだけではあまり満足できない。花鳥園より街までができるとあまり意味がないと思います。
5. 新しい道ができたことで、どう車の流れが変わり、新たにどこが危険になったかしっかりみてほしいです。子供達の通学路が車の抜け道になり、いつかきっと大きな事故になると思います。
6. 掛川市は南北に長い為、幹線道路（R150号～掛川駅）の必要性を強く感じています。それと共に街並みを整備し、気がねなく散歩出来るような緑豊かな道路（アスファルトではない）を考えてほしいと思います。
7. 掛川市内での渋滞が減ったように思う。なので道路についてはとても良いと思う。
8. 資生堂アートハウスへのバスの運行を望む。
9. 100円バス、大好きです。あれは残してほしいと思います。
10. 街中だけでなく、曾我地区、原田地区など駅から遠い所まで公共バスが利用できるようにして欲しい。
11. コミュニティバス東循環線は乗客が少ないようです。100円バスにして乗客を増やす方が得策です。
12. 交通の不便を感じています。市内（すべての地域に）全線循環バスを走らせて欲しい。1時間に1本一定料金で走らせて欲しい。
13. 大須賀地区に住んでいますが交通（公共）に不満です。市街地へ向かうバスも運行されていますが1時間近くかかります。
14. 中心地域を巡回しているバスを、中心から遠くの地域から中心地域へのバス運行にすべき。遠くに住んでいる人にこそ必要なサービスであると思う。今のバスの運行の考え方

はまったく理解出来ない。

15. もっと交通の便を良くし、お年寄りの行動範囲を広げてあげてほしい。あまりにも高齢者の自転車、バイク利用率が高いと思う。

16. 自転車が走りやすい道。（私は車が無い為利用しますが、段差があったり、車が通つたりと乗りにくいです）バス等の公共交通の充実でマイカー通勤を減らす。（高齢者の方も車を運転できないので1人で外出できないと言ってました）

17. 掛川は緑も多く、都市基盤（電車やバスなど）も適度に発達していてバランスがとれたまちだと思います。

18. ホテルセゾンの建物が不気味なので、解体して便利な施設を作って欲しい。

19. 島田～浜松間に映画館が一つも無いです。郊外に駐車場を備えた映画館、そのまわりにショッピングモールなどどうですか？映画館は是非ほしい！（集客間違いなし！）

20. 駅周辺の商店街は、駐車料金を払ってまで行きたい店が無いです。

21. マンホールが多すぎる地区があります。雨の日はすべりやすく危ないです。駅南に多く見られます。逆に秋葉路は歩道にマンホールがあり、とてもスッキリしています。

22. 大浜公園を整備してほしい。桜の名所だけれど、松の木が生い茂ってしまい、公園になつてないように思う。

23. 公園が貧相で少ない。楽しく遊べる公園をたくさん作って。バスが近くを通っていないため、老後の公共交通手段がなくとても住めそうにない。

24. 幼児～老人までゆったり、のんびりと過ごせるような緑豊かで自然を損なわないような公園を是非造って下さい。

25. 河川、公園など、公共施設の維持管理を徹底していただきたい。海岸の白砂を守るために、離岸堤など対策を考えて頂きたい。

26. 生産性の高い農地を潰し、宅地、工業、商業化を進めてきたのが現況生産性の低い農地が青地で荒れはててきている掛川。限られた土地利用を考えれば、今の開発線引きは間違っている。生産性の高い農地を農地として残し、低い農地を開発して他の物に利用する事を考えなくして町作りは無い！！

27. 「掛川市は花の街である。」こう言われるような市になってほしい。駅前通りや交差点など1年中花を咲かせてほしい。心にやさしい街を目指して！

28. 葛ヶ丘の団地のメイン道路沿いの街路樹が電線より上まで伸びている。そんなの葛ヶ丘だけ！！度々、電話回線が切れて非常に困った。
29. 下垂木、飛鳥の山、北病院東の山を大きく切り崩し、住宅になる方向に進んでいる様ですが、とても反対です。緑豊かであり、動物もいるのに、どんどん住むところが無くなり、緑も減り、何が温暖化防止か…と嘆かわしいです。
30. 市役所を含め、公共施設を一ヶ所にまとめるような都市計画をしてもらいたい。
31. 掛川は風が強いので、もっと風力発電に力を入れてもよいと思います。
32. 静岡空港もあと少しでできるので、千歳空港の「レラ」のようなアウトレットモールを掛川につくったら、掛川にもっと人が来るのではないかなと思います。
33. 大須賀富士電機跡地が遊休地となっている。運動施設、設備の充実が他地区に比べ貧しい。老若男女を問わず、自由に遊べるグランドを造り、健全育成、健康増進に役立ててほしい。
34. 名古屋から移り住んだのですが、掛川という町を選んだのは、新幹線駅があることと、I Cから市街地に入るまで渋滞が無いことが気に入ったからです。
35. 掛川市は新幹線とインターがあり、とても便利な街だと思います。
36. 掛川に引っ越してきて2年。今まで、いろいろな町で過ごしてきましたが、ここまで歩行者に対して厳しい町は初めてです。車優先の地域のようですが、歩行者が歩きづらいということは、車椅子の人にも大変だと思います。

【防災危機管理分野】

1. 私は障害者です。毎日特殊寝台（電動ベット）フロは移動用リフトを使用しています。地震、風水害、災害の時はどんな所に避難すれば良いか見当がつきません。本当に心配です。障害者のための防災について更に検討が必要かと存じます。
2. 外国人労働者の方が増えているように思われますが、共に安全・安心して生活できる社会を作りたいです。我ら市民も参加して。
3. 色々な国の人達が掛川市に住んでいるけど、マナーが悪すぎる。特に中国人のマナーの悪さ、秩序の無さにはげんなりします。日本にいるなら、その国のマナーや決まりを守るのが当たり前です。
4. 変な人とかが出る世の中なので、パトロールなどをしたり、ボランティアで見てくれる人が少しでも増えれば安心する。
5. 運転マナーが悪い人が多いのでなんとかしてほしいです。
6. ドライバーのマナーが悪すぎる。（ワインカーを出さない、赤信号無視 etc）このような状態であれば、ワースト1は当たり前。町ぐるみで対応すべきでは？
7. 掛川市街の方はお店などの明かりで夜道も明るいですが、少し外れの方に行くと道が暗く怖いところが多いと日頃から感じます。街灯の数を増やし、安心して歩ける道を作つて欲しいと思います。
8. 木がうっそうと茂り、顔にあたるため、また、学生も部活等で帰宅が遅くなりますので、防犯のためにもバッサリ、スッキリ切って下さるとありがたいです。
9. 私は市の北部に住んでいるのですが、昨年は土砂崩れで長期間通行止めになりました。市だけの責任ではないと思うのですが、対応があまりにも遅すぎます。現在でも大和田トンネル付近、崩れそうな危険な所があります。早急に危険区域を防災対策としてみていただきたいと思います。
10. 新型インフルエンザの時、市はどのように行動し、市民はどうするべきかを教えてほしい。
11. 色々な事件が全国で起こっていますので、住民が明るく、楽しく住める町づくりを難しい事かもしれませんのがお願いします。

【協働・広域・行財政分野】

1. 1市2町の合併後、まちづくりが3ポイント平均型となり、政策がボケている。3ポイントがどのように優先的に繋がり1つになるのか？先が見えない。1つの市となるようなビジョンを見せてほしい。再度の整理合併が必要ではと思う。
2. 合併掛川市の検証がなされているのだろうか。掛川市が外から見えなくなった。花火も市民意識を昂揚する上で大きな力となります。長は哲学をもち、計画的な財政運営を根底におくこと。掛川市の事業なのに他県の大手の会社がやっていて、中小企業まで仕事が回ってこない。掛川市の仕事は優先的に掛川市の企業が出来るようにして下さい。
3. 合併して4年目を迎えた。合併といつてもやはり生活しているといろいろな面で大東、大須賀が旧掛川に吸収されたという形に思えてならない。掛川方式で進められていることが多いのではないか。
4. 掛川市（旧大東、大須賀含む）全体を見て、合併後のメリットはどこにあったのか、まだ見いだせない。税金等が高くなったとか、行政の対応が非常に悪いという評価がかなり多い。是非とも「掛川が魅力のある町になるにはどうしたらよいのか。」市民の考えをよくよく聞いて下さい。市民の目から見た町づくりが大切に思います。まちづくりは市民から。町の管理は役所から是非お願いします。
5. 合併後、旧掛川市のやり方を踏襲しているものが多く、大東、大須賀の住民にはその方法には違和感をもっています。特に自治会の区割りやその運営方式、また、「区長」などという呼称も非常になじめないものが多いです。市内を統一した方が行政にとって都合がいいかも知れませんが、住民にとっては非常に不都合です。
6. 旧大須賀町としての行政の活動よりも規制が厳しくなっているように思われる。大須賀地区は掛川市の外れであるが、もう少し目を向けてもらっても良いのではないかと思われる。あまり市になっても市民としてのメリットが今のままでは無いような気がする。
7. 大切な税金を大事に使ってください。1市2町が合併してよかつたと思わせてください。
8. 格差社会が進んでいることからもいえるように、低所得世帯への税金負担の軽減をお願いしたい。
9. 所得税も菊川市に比べるとかなり高いし、住んでいて損した気分にさせられる面も多々ある。予算を徴収して増やすのも仕方ないかもしれないが、数年間はできる限り出費をひかえる物事はひかえたりして本当に必要なもの、不必要的ものを見極めるような財政の街であって欲しい…。
10. 掛川市は税金が高いように思います。

11. 単純に「住みやすいまち」というのは、どんなものだろうと考えた時、市県民税高いとか安いことを思い浮かべます。高いから住みやすい、安いから住みにくいというわけではありませんよね？
12. 行政改革の実行が急務である。民で行えるものは民で。
13. 市民の意思が反映されていない行政財政が行われないように、市には、もっと市民に伝える努力と市民の声を聞く努力を惜しまないで欲しいです。市長や市議会議員の皆様も選挙の時だけ良いことを言わないで、普段から市民に伝わるような活動をして欲しいです。
14. これ以上の借入金増加はやめて下さい。新市長で借金の減少を期待しましたが増加傾向にあるようで大変残念です。
15. 今、何が求められていて、どのような施策や事務事業を実行することが課題解決につながるのか？常に戦略的な行政運営ができる仕組みをつくることこそ、行政改革であると思います。ビジョンも何もない低レベルな現在の行政運営と決別できる日が1日でも早く来る事を期待します。
16. 若い世代の人達がここ掛川へ住みたいと思う街づくりをしていかなければいけないと思います。定年退職したら老後を掛川あたりの田舎暮らしを…などと思われるような街ではいけないと思います。今のままでは明るい将来は何も見えてきません。
17. 掛川市は従来より広域な面積をもち、かつ、山間地もあり、効率的な財政運営が難しいという事情があります。その為に市債も膨らんできた訳ですが、借り入れ自体は悪いことではなく必要な時は実施すべきですが、バランスシートを分析する力を市職員がみにつけ、資産、負債の状況を把握して諸施策を実施してもらいたい。
18. 地域の人々が安心して暮らせるまちづくりを目指すということは自分だけが良ければいいのではなく、苦しみや喜びを分かち合えるそんなつきあいが出来ることが最も大切なことではないでしょうか。「掛川市に住んでよかった」と胸を張って言えるよう私自身も掛川一市民として、行政改革に感心をもち、協力していきたいと思いました。
19. 財政難という言葉を錦の御旗にかけないでいただきたい。市民の智恵、市民力を借りて共に前進するという意識を持てば、我々も協力できる場面も多々あると思います。
20. 自治活動がマンネリ化し、防災意識もうすくなっている様な気がする。同じ地区にいても全くどんな人が住んでいるのかわからない。個人情報が優先されているとはいえ、これで良いのだろうか？また、自分の生活上関わりのない事は全くわからないでいることがアンケートをする中で見えてきた気がした。高齢者には目で見る情報は文章にして直接手渡したり、説明に出向かないと理解されないことも行政は認識して欲しい。民生委員などは名前だけでなく、実働できる人を選んで欲しい。

21. 市と住民が共に、掛川のまちづくりを行っていることに驚きました。これからも良きまちづくりを行ってほしいと思います。
22. 他の市と比べると、とても活性化して、皆様（市民）が生活していると思います。掛川市の規模（面積、人口）が調度いいのかもしれません。市役所の方も明るく、親切に感じます。文化的な部分が育たないのは、保守的な土地柄でしょうか。総じて住み良い所だと思います。
23. 男女共同参画事業は全面的に反対します。これを口にだすのは禁止のようですが、一体どこの共産主義国家かと思う。男性と女性で違いはあります。私は男で子供を産めません。
24. 地域活動に参加してみて全然男女平等の観念が無い年配者ばかりだと感じました。女性の声は全く受け入れられません。
25. 広報かけがわの発行は月2回となっていますが、月1回にして下さい。内容を充実すれば月1回で良いのではないかと思う。
26. 広報掛川ポルトガル語や中国語で発行してほしい（特にゴミ分別について詳しくポルトガル語や中国語で書いてほしい）
27. 市民のアンケート大変良いことだと思う。一般の市民の声をより多く聞き取って欲しい。
28. 今回のように市民への意識調査を実践して頂きありがたいことだと思う。是非形だけ終わらず今回出た色々な意見を本当の意味で役立て欲しいと思う。
29. 掛川市はとても住みやすい町だと思います。まだ改善すべきことは多々あるかとおもいますが、こうして意見を述べる機会のない市民に書面で意見を募集するという試みは素晴らしいと思います。
30. 清潔な市役所と職員の真面目な勤務ぶりには好感を抱いています。掛川市は大好きです。（元東京都民）
31. 市会議員をボランティア化すべし！！
32. 市役所にて確定申告をした際思ったことで、お昼休みに一時間休憩をとるのはどうかと思う。交替で休憩し、迅速な対応をしてもらいたい。（確定申告は土日は出来ないため、平日の夕方五時までしか受付してもらえないため、会社の昼休みを利用して行ったが、結局待たされ、会社にも遅刻してしまった。）
33. 市職員給料が高すぎる。市の財政が苦しいのに議員の給料を上げたのか？議員の人数

の削減を考えているのか？

34. モラル低下の職員が多い気がする！

35. 市役所の受付に人は必要ないのでは？案内板有れば十分でしょう。小さな市役所で…。
人員削減に力を入れましょう。

36. 役所内の縦割り組織の見直しを至急実施し、部門間の連携強化！！職員の専門職の能
力UP強化！！（民間企業の様な危機感が無い）

37. 市役所は土曜日も利用できるようにして欲しい。

38. 大東地区に住んでいるが、A D S Lが使えない。I Tを使う環境が整っていない。ブ
ロードバンドを使えるようにしてほしい。